

ひとみ座 乙女文楽 写真展

2014年3月11日(火)～3月30日(日)

<会場> モトスミ・ブレーメン通り商店街 コミュニティセンター1階

主催：(公財)現代人形劇センター
助成：平成25年度かわさき市民公益活動助成

毎年5月に中原区井田のひとみ座スタジオで行っている
乙女文楽若手公演の舞台写真を中心に展示しています。
会期中には、人形が登場し、遣い手による人形解説もあります！

乙女文楽とは

「文楽」はユネスコの「無形文化遺産」にも登録された日本を代表する
伝統人形芝居。一体の人形を三人で操ることで、感情やしぐさを繊細に
表現します。

それに対し「乙女文楽」は、ひとりの人形遣いによって演じられます。
昭和初期に文楽の人形遣い五世桐竹門造によってはじめられ、ひとりで
遣うために、人形の仕組みと操り方にさまざまな工夫がなされています。
女性ばかりで演じられる華やかな舞台もみどころです。

ひとみ座乙女文楽

創始者桐竹門造の直弟子である故・桐竹智恵子に40年来教えを受けて、
国内はもとより世界各地で公演し、近年は子ども向けの教室の開催など
地域に根ざした活動にも力をいれています。

また智恵子師亡き後2010年より文楽の桐竹勘十郎師に指導をあおいで
います。

メンバーは中原区井田を拠点に活動する人形劇団ひとみ座の演技者です。

2014年3月23日(日) 11時と15時

乙女文楽の人形と人形遣いが、写真展の会場コミュニティセンター
に登場します！ どの人形がやってくるかは当日のお楽しみ♪
実際の人形をお近くでご覧いただきながら、人形の仕組みを
特別にお教えします！ ぜひ、お越しください♪

